**高木さんプレゼン**

このゲームは架空の商品に、毎年1万円ずつドルコストでつみたてをしていきます。20年間で20万円つみたてて、その成績を予測するゲームになります。

まずは5年目から見ていきましょう。

毎年1万円ずつ5年間つみたてた場合、何色が一番投資の成績が良いでしょうか？

成績をみてみましょう。この様に、赤が一位になりました。

なぜかと言うと、この価格下がったところで「量」をたくさん買ってから上昇したからです。

続いて10年目ですが、値動きが出てきました。何色が一位になると思いますか？

正解を見てみましょう。一位は赤になりました。赤はどんな値動きだったでしょうか？

ここで価格が下がり「量」を買い込み、その後に価格が上昇したので赤が一位になりました。

みなさん、9年目の黄緑色を見てください。8年目にビリだったのに9年目に一気に上昇して一位になっていますね。

9年目の黄緑色は、どんな値動きだったでしょうか？9年目の価格を見てみましょう。正解はこれです。こんなに価格が低かったんですね。

みなさんに質問です。なぜ商品の価格としては低い黄緑色が9年目に少し上昇しただけで一位になったのか分かりますか？

価格が下がっているところでたくさんの「量」が買えていたんです。合計口数を確認してみましょう。これを見ると他の色と比べて一番沢山の「量」が買えているのが分かります。

つまり、つみたて投資に於いて価格が下がる事は悪い事ではないんです。価格が下がるという事は「量」が沢山買えている事になります。

**しかし、多くの人達は「量」の視点を持っていません。商品の価格ばかり見ているので価格が下がる事は悪い事だと「誤解」しているんです。**

つみたて投資の場合は、価格が下がったところで沢山の「量」が買え、「量」を買い込んだ後に少し価格が戻ると、掛け算の力で資産が増えます。

つまり、つみたて投資は価格が下がると損をするのではなく、価格が下がると「量」が買えるというのが正しい解釈になります。

つみたて投資をする人は物を仕入れる人です。

先ほどもリンゴの話しをしましたが、もし、みなさんが八百屋さんだとして、リンゴの価格が下がったとしたら、沢山の「量」を仕入れる事ができてラッキーですよね？

**つみたて投資の場合も、価格が下がれば沢山の「量」を仕入れる事ができるので、本来であれば嬉しいはずなのに、多くの人達は「量」の視点がなく価格しか見ていないので、価格が下がる事は悪い事だと「誤解」をしています。**

続いて15年目ですが、どれが一位だと思いますか？

正解をみてみましょう。はい、水色でした。二位の赤とはほんの少しの差ですね。

価格を見てみると、二位の赤とこれだけ大きな価格の差があるのがわかりますよね？

では、水色が一位になった原因はなんでしょうか？

そうです、価格が下がったところで沢山の「量」が買えて、その後に少し価格が上がったので一位になりました。

最期に20年目ですが、どれが一位になったでしょうか？

答えを見てみましょう。正解は、黄緑色が一位、水色が二位でした。

価格を見てみると、この二色は「量」を買い込むチャンスが長かったのが分かります。

それでは、合計口数を確認してみましょう。黄緑色が一位、水色が二位になりました。

この様に、沢山の「量」が買えていたので成績が良かったんですね。

ここまで、5年目、10年目、15年目、20年目の４回に分けて説明してきましたが、つみたて投資に於いて、価格が下がるのは悪い事ではなくて「量」が買える事だと理解してもらえたと思います。

**ただ、ほとんどの人達が「量」の視点が無く価格だけ見てしまっているので、価格が下がるのは悪い事だと「誤解」をしています。**

**(ここまでがSTEP1：量の意識)**

みなさん、価格が下がったら「量」が買えるのは理解できたと思います。

では次に赤や青の様に順調に上昇するケースを見てください。順調に価格が上昇するとどうなるんでしょうか？

もう一度、成績を見てみましょう。この黒が投資金額になりますが、赤と青もしっかり利益は出ていますよね？

つまり、つみたて投資の場合、赤や青の様に順調に上昇する商品に投資をしても問題はなく、しっかり利益は出ます。

みなさんに質問です。水色や黄緑色の様に下がっていって最後に少し価格が上がるケースと、赤や青の様に順調に価格が上がるケース、下がるケースと上がるケースのどちらが有利なんでしょうか？

答えは、下がるケースでも、上がるケースでも「どちらでもいい」です。

なぜなんでしょうか？

投資の成績＝量×価格で決まりますよね？

水色や黄緑色の様に商品の価格が下がる場合は、買える「量」が増えていきますよね？

沢山の「量」が買えた後に、価格が少し上がるだけで良い成績になった。

赤や青の様に順調に上昇するケースはどうなりますか？価格が上昇していくので、当然買える「量」は減っていきますよね？しかし、投資をした商品の価格が上昇するのはとっても良い事ですよね？

つまり、つみたて投資に於いて「量と価格の関係」は「シーソーの関係」になります。「上がったら良い」とか「下がったらダメ」とか、単純な関係ではなく「どちらでもいい」です。

**ただ、多くの人達は「量」の視点を持っていないので、「価格が上がったら良い」とか「価格が下がったらダメ」という「誤解」をしているんです。**

ただ、答えは「どちらでもいい」のですが、私は赤や青の様に順調に上昇する商品につみたて投資をする方が良いと思います。なぜならば、赤や青の様に順調に上昇する商品は投資金額に対して安定的に利益が出るからです。

水色や黄緑色は、最終的には利益は出ましたが、途中の段階では赤字になってしまうケースがありますので、上がっても下がっても「どちらでもいい」のですが、安心してつみたて投資をするには、中長期的に上昇する商品を選びましょう。

過去、どれだけ優れた商品でも、将来は誰にも分かりません。始めてすぐにリーマンショックの様に大きく価格が下がる可能性もあります。しかし、つみたて投資の場合は、一時的に下がってしまっても、沢山の「量」が買えるだけですので気にしなくて大丈夫ですよね。

**(ここまでがSTEP2：シーソー)**

みなさん、始めの部分を見てください。投資の成績に大きな差はありませんよね？なぜだか分かりますか？これも「量」が関係しています。

つみたて投資は時間をかけて「量」を積み上げていく方法です。ですから、最初の数年間は「量」がほとんど貯まっていないので、価格がいくら動いても投資の成績には、ほとんど動きがありません。**ただ、多くの人達が「量」の視点を持っていないので、始めるタイミングが重要だと「誤解」しています。**

しかし、つみたて投資は始めるタイミングは全く重要ではありません。今後、資産形成を考えていく上で、昔の様に預金金利で増やす時代は終わりました。欧米の人達の様に中長期的に世界経済の成長に対して「量」を積み上げて資産形成をしていくのであれば、価格の上げ下げには関係なく「量」は確実に積み上がるので「早く始める」事が大切になります。

そして、価格が下がったところで止めてしまうと「成績」は赤字になる事もあります。その時に止めてしまうと残念な結果になってしまいますので「長く続ける」事も重要です。

**大切なのは「早く始めて長く続ける」×３事です。**

 **(ここまでがSTEP3：始めるタイミング)**

**高木さんプレゼン【プロ向け使い方の解説】**

高木さんプレゼンは、3つのSTEPに分かれます。

STEP1で、値段が下がった場合の「量」の意識を説明する。STEP2で、投資の成績は「量×価格」の掛け算で決まり上がっても下がってもいいと「シーソー」の説明から、基本的に上昇する商品が良く、下がっても気にしない事を説明する。STEP3で、始めるタイミングは関係ないので「早く始める」必要性を説明する。この3つのSTEPで、投資に対しての「３つの誤解」を、一つずつ解いていく事が目的になります。

まず、STEP1は5年間ずつ見せていきます。

5年目は、このツールに慣れてもらうためのウォーミングアップなのでサクッと説明します。できるだけ簡単に説明してください。

「答えは赤なんですよ」と、先に答えを言ってしまって構いません。「成績」のグラフで答えを確認し、「価格」のグラフで「ここで価格が下がり沢山「量」が買えて、その後価格が上昇したので赤が一位になりました」で終了です。

「価格」⇒「成績」⇒「価格」だけ見せて10年目に進みます。(操作に注意が必要)

10年目のプレゼンが一番大切なポイントです。

「価格」のグラフで「今度は何色が一位でしょうか？」と質問します。この場合はオレンジと答えるケースが多いです。答えは赤なので「成績」のグラフで確認した後、「価格」のグラフで「ここで価格が下がり「量」を買い込み、その後価格が上昇したので赤が一位になりました」と説明します。

しかし、10年目のポイントは9年目の黄緑色になります。「成績」のグラフで9年目の黄緑色を示して「8年目はビリだった黄緑色が9年目に一気に一位になっていますね。9年目の黄緑色の価格はどんなだったか覚えていますか？」と質問します。

ほとんどの方が、9年目の黄緑色はノーマ―クだったので分かりません。そこで「価格」のグラフで黄緑色の価格を確認します。

すると、9年目に黄緑色が少しだけ上昇しただけで一位になったことが分かります。そこで「なぜ9年目に黄緑色が少しだけ上昇しただけで一位になったのか分かりますか？」と質問します。

価格が下がったことで「量」が買えたから一位になったと理解ができ、ここで「量」の意識が強くなります。

そして「合計口数」を見せます。すると黄緑色が多くの「量」を買い込んでいるのが確認できて、更に「量」の意識が深まります。

10年目のプレゼンは9年目の黄緑色を説明する事が最大の目的です。

ここまでの流れを解説しますと、ゲームの準備の「半値グラフ」で投資の成績＝量×価格だと説明しています。ここでは「量」の意識は点線程度でそんなに深くはありません。

その次に5年目のグラフを見せた時にどうなるかと言うと、まだまだ意識は深くないので

「ふんふん」程度です。

しかし、10年目をみせて9年目の黄緑色が一位になっている事で「なるほど量を買うとすごいんだ」と「量」の意識がグッと深まるので、ここが一番大切なポイントになります。

また、多くの人達が「価格が下がる事は悪い事と「誤解」している」と、1つ目の「誤解」を伝える事も重要です。

このポイントをしっかり説明するために、5年目があると思ってください。

**(量に対しての自信が付く)**

9年目で「仕入れ」の話しをしましたが、これもイメージしやすいので使ってください。

セミナーならできるだけ分かりやすい例えが良いですが、個別の場合は、相手の職業などイメージしやすい内容で伝えても良いでしょう。

ここで「量」の意識とともに「誤解」の意識も上書きしていきます。

みんな「量」の意識がなく「価格」ばかり見ているので、価格が下がる事は悪い事だと「誤解」していると、2つ目の「誤解」をしっかり伝えましょう。

15年目は、ほとんどの方が水色を選びますが、裏を読んで赤等を選ぶ方もいます。

しかし、成績を見せて水色が一位になる事が分かると、かなり盛り上がるポイントです。

9年目の黄緑色で「量」の意識は持っているのですが、まだ確信までいかない状態なので、ここで水色が一位になる事で「やっぱり量を買うとすごいんだ」と、更に「量」の意識が深まります。

**(量に対しての自信が確信に変わる)**

20年目ですが、ほとんどの方が水色や黄緑色を選びますね。

20年目は「量」の意識の確認作業になりますので、ここでも「合計口数」を見せて確認をします。「再確認」してもらい、高ぶった気持ちを落ち着かせるイメージになります。

そうすると「量の力が分かった」と、「量」に対しての意識がしっかり腹落ちします。

更に、「ほとんどの人が「量」の視点がなく「誤解」をしている。」と、3つ目の「誤解」を上書きしていきしましょう。

**(量に対しての確認)**

5年目から20年目までに「量」の意識を上書きしていく事で、「量」の意識がしっかりと入っていくと共に、「誤解」しているという認識も深まります。

「量の意識をしっかり理解してもらう」事で「下がったら損をする」と言う「誤解」を解く目的がSTEP1になります。

ここまでで終わりにすると、下落のメリットだけ伝わって終わってしまうので、STEP2では「値上がりした場合」について説明します。

「価格」のグラフで赤と青のみに注目してもらい、「成績」のグラフで投資金額に対して、赤や青もしっかり利益が出ている事を説明します。この時、必ず「価格」のグラフで「値上がりした場合」を説明してから、「成績」のグラフで利益が出ている事を確認します。

「みなさんに質問です。水色や黄緑色の様に下がっていって最後に少し価格が上がるケースと、赤や青の様に順調に価格が上がるケース、下がるケースと上がるケースのどちらが有利なんでしょうか？」と、質問するとだいたいの方は迷います。

下がるケースでも、上がるケースでも「どちらでもいい」と答え、「上がったら良い」「下がったらダメ」と言うのは「誤解」だと、4つ目の「誤解」を上書きしましょう。

新たに「投資の成績＝量×価格」と記入して

価格が下がる ① ⇒ 買える量が増える ② ⇒ ②にOK ③

価格が上昇していく ④ ⇒ 当然買える量は減る ⑤ ⇒ ④にOK ⑥ ⇒ 「シーソー」 ⑦

と、①～⑦の順番で説明していきます。しっかりこの順番どおりに説明しないと、混乱してしまいますので、必ずマニュアルで確認して覚えてください。

ただ、「どちらでもいい」で終わってしまうと迷ってしまうので、「安心して続けるために、基本的にきちんと上昇して黒字になりやすい商品を選びましょう」とフォローします。

その方が、実際に提案もしやすくなりますし、その後に商品も選びやすくなります。

「価格」のグラフの赤と青の2年目、3年目のところで「始めてすぐにリーマンショックの様に一時的に下がってしまっても、沢山の量が買えるだけですので気にしなくて大丈夫です」と、基本は上昇していく商品を選ぶが「一時的に下がっても大丈夫」とフォローします。

シーソーの関係で「上がっても下がってもどちらでもいい」事を認識してもらい、「投資の成績は、商品の成績できまる」という「誤解」を解く目的がSTEP2になります。

STEP3ですが、「成績」のグラフで序盤の成績のブレ幅が小さい事を説明します。

最初の数年間は買える「量」が少ないので、価格がいくら動いても投資の成績にほとんど影響は無く、序盤の成績の変動幅を気にする必要は無い事を説明し「投資を始めるタイミングが重要」と言うのは「誤解」だと、5つ目の「誤解」を上書きします。

「価格に関係なく「量」は確実に積み上がる」ので早く始めた方が良いという「早く始める」理由。「ただし下がったところで止めてはいけない」という「長く続ける」理由。２つの理由をしっかりと伝えた上で「早く始めて長く続ける」と、3回言いましょう！

「早く始めるのが重要」である事を認識してもらい、「始めるタイミングが重要」という「誤解」を解く目的がSTEP３になります。

**高木さんプレゼン【プロ向けロープレスクリプト】**

**まず、みなさん30秒ずつ自己紹介をしてください。**

それでは、高木さんプレゼンの基本の型を5つに分けて行います。

どういう事かと言うと、STEP1「量」の意識のところを5年目1回、10年目1回、15年目、20年目で1回の3回目と言う形で、3回に分けて説明していきます。

その後、STEP2で「シーソー」の説明、STEP3で「早く始めて、長く続ける」事の説明をそれぞれ1回ずつやって、全部で5回のプロセスに分けてロープレをしていきます。

操作の仕方を説明します。みなさんログインはできていますね？

対象ゲームを選択します。「高木さまオフィス」を選択して決定ボタンを押すと、このグラフが出てきます。

グラフの下に「表示年数」と言うのがあります。この表示年数を操作することで表示する年数を選択できますので、最初は5年目を選択します。

5年目は、1分間で終わらせるイメージでサクッと説明します。

5年間の架空の商品の値動きです、商品名はありません。6色で表しています。

これらの商品に毎年1万円ずつ、5万円積立したら何色が1位になると思いますか？

「答えは赤なんですよ」と、先に答えを言ってしまって構いません。

「成績」のグラフで答えを確認し、「価格」のグラフで「ここで価格が下がり沢山「量」が買えて、その後価格が上昇したので赤が一位になりました」で終了です。

「価格」⇒「成績」⇒「価格」だけ見せます。

5年目は、このツールに慣れてもらうことが目的になります。

**一つだけ約束事があります。ロープレでは聞く側の方もきちんと演じてください。**

**ロープレは役割を演じるという事ですので、ですから話す方だけでなく聞く方もしっかり演じて質の高いロープレにしましょう。**

では、これから順番を決めて1人1分半でロープレをしてください。

それでは、まず5年目までロープレしてみましょう！

次に10年目ですが、**10年目のプレゼンが一番大切なポイントです。**

表示年数を10年目にします。10年目では実際にお客様にも考えてもらいます。

「価格」のグラフで「値動きが出てきましたが、今度は何色が一位でしょうか？」と質問します。この場合はオレンジと答えるケースが多いです。答えは赤なので「成績」のグラフで確認した後、「価格」のグラフで「ここで価格が下がり「量」を買い込み、その後価格が上昇したので赤が一位になりました」と説明します。

さて、ここからが大切です。

「9年目の黄緑をご覧ください」と言って、「成績」のグラフで9年目の黄緑色を示して「8年目はビリだった黄緑色が9年目に一気に一位になっていますね。9年目の黄緑色の価格はどんなだったか覚えていますか？」と質問します。

ほとんどの方が、9年目の黄緑色はノーマ―クだったので分かりません。そこで「価格」のグラフで黄緑色の価格を、間を取って確認します。

すると、9年目に黄緑色が少しだけ上昇しただけで一位になったことが分かります。

そこで「なぜ9年目に黄緑色が少しだけ上昇しただけで一位になったのか分かりますか？」と質問します。

下がったところで沢山の「量」を買い込んでいるからですよね？

**ここで初めて「合計口数」を見せます。すると黄緑色が多くの「量」を買い込んでいるのが確認できて、お客様に伝わります。**

**ここが一番大切なんです。9年目の説明の時に初めて「合計口数」を見せます。**

**ここで「量」の視点がすごく落ちますので、是非みなさん必ず「仕入れの話」をしてください。**

**セミナーならできるだけ分かりやすい例えが良いですが、個別の場合は、相手の職業などイメージしやすい内容で伝えても良いでしょう。**

**～仕入れの話～　(例)八百屋さん、ピザ屋さん、お花屋さん、お魚屋さん等**

**「つみたて投資の場合も、価格が下がれば沢山の「量」を仕入れる事ができるので、本来であれば嬉しいはずですよね？」という事で、仕入れの話しをきちんとします。**

**もう一つ重要なポイントがあります。公式の「量」のところを隠して「多くの人達は「量」の視点がなく価格しか見ていないので、価格が下がる事は悪い事だと「誤解」をしています。」と、「誤解」しているというところに落とし込んでください。**

**この2つがとても重要です。**

「誤解」していると落とし込むことで、ご紹介に繋がりやすくなります。

例えばご家族の方なら「息子さんに教えてあげませんか？」とか「お友達に教えてあげませんか？」あるいはDCを導入している企業さんであれば「同僚の方に教えてあげませんか？」等、「みんな「誤解」を解いてあげましょう」と言う感じで、「誤解しているんだ」というメッセージに落とし込んであげることが重要です。

2つのタスクですが、1つ目は「仕入れ」の話し。2つ目は公式を書いて「誤解」していると落とし込みます。

それでは今度は1人4分間で、10年目をロープレしてみましょう！

次は15年目、20年目を一気にいきます。

10年目で「量」の視点ができた段階で、次の15年目を見せてあげます。

さっきの9年目の説明の後なので、かなり「量」意識が強くなっています。そうすると、ほとんどの方が水色を選びますが、裏を読んで赤等を選ぶ方もいます。

しかし、成績を見せて水色が一位になる事が分かると、かなり盛り上がるポイントです。

「価格」のところで、赤とこれだけ大きな価格差があるのに水色が1位になったのはなぜでしょうか？価格が下がったところで沢山の「量」が買えているからですよね？

**しかし、ほとんどの人が「量」が見えていないので、価格が下がったら損すると「誤解」しているんですと、ここでも「誤解」していると落とし込んでください。**

**9年目のプレゼンで「量」に対して「自信」を持ちます。15年目のプレゼンで、水色が赤に勝つことで「量」に対して「確信」に変わります。ですから15年目も重要です。**

次に20年目にいきます。

20年目はクイズを出さなくても構いません。ここまでくると、ほとんどの人が水色か黄緑を選びますので答えを言ってもらって構いません。

「正解は、1位は黄緑、2位は水色でした」と、2位は水色まで言ってあげてください。

そして「合計口数」をここでも見せてあげます。「1位は黄緑、2位は水色」と、言います。

**20年目は「量」の意識の「確認」になります。「やっぱり「量」ってすごいよね！」と「確認」してもらうプロセスが20年目になります。**

**しかし、ほとんどの人が「量」が見えていないので、価格が下がったら損すると「誤解」しているんですと、ここでも「誤解」していると落とし込んでください。**

タスクは、15年目と20年目で「量」の視点がないから「誤解」していると落とし込んでください。

それでは、1人3分間で15年目と20年目のロープレをしてみましょう！

では次にSTEP2にいきます。

STEP1で、「下がってもいいよ」と「量」の意識をひたすら繰り返し与えてきました。

ここで終わりにすると「下がったほうがいい」と誤解を与えてしまうので、次にSTEP2で「上がってもいいよ」という話をしていきます。

STEP2は20年目が終わった状態からスタートします。

みなさん、価格が下がったら「量」が買えるのは理解できたと思います。

「では次に赤や青の様に順調に上昇するケースを見てください。順調に価格が上昇するとどうなるんでしょうか？」と、問いかけてください。

もう一度、成績を見てみましょう。

「この黒が投資金額になりますが、赤と青もしっかり利益は出ていますよね？つまり、つみたて投資の場合、赤や青の様に順調に上昇する商品に投資をしても問題はなく、しっかり利益は出ます。」と、値上がりしてもいいという事を伝えます。

**ここを抜かしてしまう人がとても多いので、「値上がりしてもいいよ」と言う話をきちんとしてください。**

そして「水色や黄緑色の様に下がっていって最後に少し価格が上がるケースと、赤や青の様に順調に価格が上がるケース、下がるケースと上がるケースのどちらが有利なんでしょうか？」と、質問するとだいたいの方は迷います。

答えは「どちらでもいい」ですね。

そして、「シーソー」の話しをします。

新たに別に「投資の成績＝量×価格」と記入してください。

こっちは「量」の意識を持ってもらうための式、新たに記入した方は「シーソー」の関係を伝えるためなので、必ず別に書いてください。

まず、水色や黄緑色の様に商品の価格が下がるとどうなったか？

書き順はマニュアルにも書いてありますので、ちゃんと守ってください。

価格が下がると？①

買える「量」がどんどん増えていきますよね？②

価格が下がると買える「量」が増えるからOKですよね？③

次に、赤や青の様に順調に上昇するケースはどうなりますか？

価格が上昇していくと？④

当然買える「量」は減っていきますよね？⑤

しかし、買える「量」は減るんですけれども、買ったものが上昇すれば投資ではきちんと利益が出ます。だからこれはOKなんですね。⑥

つまり、「量と価格の関係」は「シーソーの関係」になります。⑦

「シーソー」と言うのも、必ず文字で書いてあげてください。

「誤解」もそうなんですけれど「シーソー」も、きちんと書いてあげる事で伝わります。

**「ただ、多くの人達は「量」の視点を持っていないので、「価格が上がったら良い」とか「価格が下がったらダメ」という「誤解」をしているんです。」と、これも必ず「誤解」に落とし込んでください。2つ目の「誤解」を解く。**

投資の成績って商品の値動きで決まると思い込んでいる人が圧倒的に多いんですよ。その「誤解」を解いてあげる。これが「シーソー」の話しです。

「シーソー」の話しをした後で、実務レベルの話しでもう一つ補足してあげると、よりいいでしょう。

何かというと、「どちらでもいい」で終わってしまうと迷ってしまうので、こういう話をします。

上がっても下がってもどちらでもいいのですが、上がっていく商品に投資をした方が、より好ましいですよ。なぜかと言うと、赤とか青みたいに順調に上昇すると安定的に黒字が続くんですよね。

逆に水色や黄緑色の様に値段が下がる商品は、沢山の「量」が買えるからいいんですけれど、途中の段階では赤字になってしまう期間もある。赤とか青みたいに順調に黒字が続く商品の方が、より安心しやすいと思うので、つみたては中長期的に上昇が期待できる商品に積み立てていきましょう。

ただ、過去どれだけ優れた商品でも、あくまで過去の話しで将来は誰にも分かりません。始めてすぐにリーマンショックの様に大きく価格が下がる可能性もあります。しかし、つみたて投資の場合は、一時的に下がってしまっても、沢山の「量」を買い込む「リーマンチャンス」なんですよと、まとめてあげてください。

**STEP1で「下がった方がいいよ」と「量」の視点を与えた後に、STEP2では「上がってもいいよ」と、話をもっていくのがミソですね。**

**大切なのは「上がってもいいよ」と、言う話を必ずする事。**

「上がってもちゃんと利益は出る」と、話をして「上がるのと下がるのはどちらがいいと思いますか？「シーソー」ですよ」と、「シーソー」の書き順もきちんとやってみてください。

「どちらかと言うと上がっていく商品の方が安心して続けられるからいいですよ。でも、途中で下がったら下がったでそれは大丈夫ですよ。」と言う形で、まとめるという事です。

2つのタスクですが、1つ目は「上昇してもOK」2つ目は「シーソー」の話しをして「誤解」の話まで落とし込む。

それでは、1人4分間でロープレをしてみましょう！

STEP3ですが、クロージングに直結する部分ですが「早く始めて、長く続ける」と言うのを説明していきます。

STEP3だけ「価格」からではなく「成績」から見せます。

始めの部分を見てください。最初の数年間は投資の成績に大きな差はありませんよね？

なぜだか分かりますか？これも「量」が関係しています。

つみたて投資は時間をかけて「量」を積み上げていく方法です。ですから、最初の数年間は「量」がほとんど貯まっていない。合計口数を見てみましょう、この様に最初の数年間は「量」がほとんど貯まっていないんですよ。だから最初は「量」が少ないんです。

だから、つみたて投資って始めるタイミングは重要ではないんです。

**ただ、多くの人達が「量」の視点を持っていないので、始めるタイミングが重要だと「誤解」しています。**

もっと言うならば、つみたて投資は「量」を積み上げていく投資方法ですから、なるべく「早く始めて、長く続ける」のが大切なんです。

**「早く始めて、長く続ける」これを3回言ってください。**

**これからの日本人は資産を「金利」で増やすか？「量」で増やすか？のどちらかです。**

**今後、資産形成を考えていく上で、昔の様に預金金利で増やす時代は終わりました。**

**欧米の人達の様に中長期的に世界経済の成長に対して「量」を積み上げて資産形成をしていくのが王道なんですよ。**

**中長期的に「量」を積み上げて資産を増やすのであれば、価格の上げ下げには関係なく「量」は確実に積み上がるので、なるべく「早く始める」事が大切になります。**

同じ商品に同じ金額を積み立てた場合、先月始めた人に今月始めた人は追いつかないんです。つみたて投資で大切なのは「量」を積み上げていく方法なので、やるのであれば「早く始めて、長く続ける」方がいい。

そして注意点が2つあります。1つ目は価格が下がったところで止めてしまうと「成績」は赤字になる事もあります。その時に止めてしまうと赤字になってしまう。2つ目は終盤になってくると「量」が積み上がるので、投資の成績の変動幅が大きくなってくるんです。ですから終盤にかけてはリバランスとか安定的な資産に組み替えるなど、メンテナンスが重要になります。その時に決められない人は「担当者に相談してください」と、担当者の付加価値を生むことになります。

２つのタスクですが、1つ目は「誤解」の話しをする。「量」の視点が無いから始めるタイミングが重要だと「誤解」していると話す。

2つ目は「金利」と「量」の比較。「量」で増やすなら早い方がいいと話す。

それでは3分間でロープレをしてみましょう！